

平成25年度 教育モニターからの質問とその回答 1月分

月	住所	性	歳	質問および回答
1	安八町	女	60	<p>岐阜県では、国体の意識の継続化をはかっていると思うが、学校では火が消えていくように感じている。体力づくりをぜひ重点活動に組み入れてほしいと思う。学校教育は、何か新しいことをしなくても昔から言われている「知、徳、体」を継続深化させればよいのではないだろうか。</p> <p>⇒今年度の全国体力調査によると本県の児童生徒の体力は、小学生が全国平均並み、中学生が全国平均よりやや高いという結果が出ております。体力はあらゆる活動の源であり、県教育委員会では、学力と同様に「健康・体力づくり」を重点目標のひとつとして推進し、学校における体育・健康に関する指導の充実や運動部活動の活性化などに取り組んでおります。</p> <p>また、「ぎふ清流国体」の成果を生かした取組として、優れた指導者や選手が県内のクラブ等で引き続き活動しながら、学校の授業や部活動へ出向いて指導に当たり、その選手が活躍する試合を子どもたちが応援したりするなど、スポーツに親しむ機会を着実に増やしております。今後も一層スポーツを身近なものに感じ、積極的に取り組む子供たちが増えるよう、家庭や地域と連携を図りながら、「知・徳・体」のバランスがとれた児童生徒の育成に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ健康課】</p>
1	各務原市	男	60	<p>昨年末の新聞紙上で「水で洗い、ラップを巻く」の表題のもと、これまでのやり方では消毒薬で正常な細胞にまでダメージを与えてしまうので「湿潤治療」「ラップ療法」と呼ばれる治療法をすすめていたが、これらのことを受け、養教部会(医師会)はどう対応しているのだろうか。正しい治療法を示していただくか、もしくは現状に対する方向やお考えをお聞きしたい。</p> <p>⇒学校で養護教諭等が行う傷の手当は、あくまでも医療機関での専門的な治療をさまたげることのないよう応急手当の範囲を超えないこととなっています。「湿潤療法」については、県としては、専門的な医師の指導のもとに行う医療的な処置であるとして、誤った独自の判断を進めることのないよう確認をしています。なお、保護者からのご意見等は、現在のところございませんが、学校における応急手当を進めるにあたっては、学校医の指導のもと、保護者からの要望にも十分配慮しております。</p> <p>今後も、学校での救急処置について、保護者の要望にも十分配慮し対応してまいりますので、よろしく申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ健康課】</p>